

# 市議会 だより

city  
assembly  
report

Vol. 26

### おもな内容

- 平成23年度予算特集 ——— 2~5
- 議案審議 ——— 6~7
- 常任委員会報告 ——— 8~11
- 代表質問目次 ——— 12
- 代表質問 ——— 13~15
- 一般質問目次 ——— 16
- 一般質問(15名が問う) ——— 17~21
- 特別委員会報告 ——— 22
- 組合議会報告 ——— 23
- であい・こうか八景 Vol.6 ——— 24



甲賀市民よりの支援物資



甲賀市民94,600人 の暮らしにかかわる

# 平成23年度 一般会計 346億円 予算可決

対前年度 11.1%増

市民1人あたりにすると 36万5,750円

平成23年度甲賀市の予算は、総合計画の実現に向けた重点的かつ戦略的な財源配分と財政健全化にむけた着実な取り組みをもとに編成されたものです。

一般会計予算は、346億円で、前年度比11.1%増。特別会計予算は、195億5,621万円で、前年度比3.3%増。企業会計予算は、48億2,012万円で、前年度比3.6%減。総額589億7,634万円、前年度比7.1%増で可決しました。

一般会計予算は市民1人あたりにすると、36万5,750円、総予算額では、62万3,428円となります。

**豆事典 予算のしくみ**

自治体の予算も家計と同じですが、家計と違う点は、会計年度が4月から翌年3月までと決められており、議会の議決が必要なこと、市民のみなさんに公表しなければならないことです。

歳入の主なものは、市民のみなさんが納める税金で、全体の36.6%を占めています。次に地方交付税として、所得税など国に納めた税金が地方自治体の財政状況に応じて配分されるものです。さらに国・県からの補助金、そして市債で編成されています。

歳出の基本は、市民の大切な税金を市民の暮らしを良くするために使います。それをチェックするのが議会の役割です。

平成23年度 各会計別の当初予算

会計名	当初予算額	前年度比
一般会計	346億円	11.1%
国民健康保険	81億5,400万円	3.9%
老人保健医療	—	皆減
後期高齢者医療	15億100万円	△6.8%
介護保険	47億1,600万円	0.4%
公共下水道事業	33億3,200万円	10.2%
農業集落排水事業	7億3,300万円	△0.7%
土地取得事業	379万円	△3.6%
野洲川基幹水利施設管理事業	2,120万円	△2.9%
鉄道経営安定対策基金	2,095万円	△2.7%
鉄道施設整備基金	1,407万円	△54.6%
国民健康保険診療所	4億8,430万	△32.9%
浄化槽管理事業	1億8,300万円	32.6%
介護老人保健施設事業	3億9,290万円	518.7%
小計	195億5,621万円	3.3%
病院事業	9億3,604万円	△2.3%
水道事業	38億8,408万円	△3.9%
小計	48億2,012万円	△3.6%
合計	589億7,634万円	7.1%

※企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算とする。

消防体制の充実と防災のための経費

14億9,355万円 1人あたり **15,788円**

**消防費**

商工業を応援し観光づくりのための経費

2億9,216万円 1人あたり **3,088円**

**商工費**

勤労者支援などの経費

3億9,093万円 1人あたり **4,132円**

**労働費**

市民の声を市政に届ける議会にかかる経費

3億2,346万円 1人あたり **3,419円**

**議会費**

市の借金。償還経費

44億908万円 1人あたり **46,607円**

**公債費**

予備費

1億円 1人あたり **1,057円**

**予備費**

地域福祉の基盤、健康づくり経費

106億5,573万円 1人あたり **112,639円**

**民生費**

幼稚園・小中学校、生涯教育にかかる経費

35億1,295万円 1人あたり **37,134円**

**教育費**

市民生活と環境保全のための経費

37億6,402万円 1人あたり **39,788円**

**衛生費**

まちづくり計画、財政効率的運用の経費

60億1,334万円 1人あたり **63,565円**

**総務費**

道路など暮らしの土台を築く経費

21億9,329万円 1人あたり **23,184円**

**土木費**

農林業や地場産業の振興のための経費

14億5,144万円 1人あたり **15,342円**

**農林水産業費**



# 総合計画の実現 にむけた積極的な予算編成

## 6つのテーマを重点 的施策として盛り込む



● 予算特別委員会委員 (議席番号順) ○委員長○副委員長

- ◎橋本 律子 ◎白坂万里子
- 森嶋 克己 山岡 光広 土山 定信
- 橋本 恒典 鶴飼 勲 小松 正人
- 辻 重治 野田 卓治 村山 庄衛
- 岩田 孝之 今村 和夫 服部 治男

### 予算特別委員会

平成23年度甲賀市一般会計予算について付託された予算特別委員会では、4日間にわたり、各局に詳細な説明を求め慎重に審査しました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

### 集中審査

平成23年度予算は行財政改革の着実な実践とともに、基礎的財政収支の黒字化の継続を図り、国の経済対策関連交付金を有効的に活用するなど、市民ニーズの実現に向けた予算です。歳入の確保に努め、財政調整基金についても22年度末で約17億5,000万円の積み立ての確保ができましたが、今後も行財政改革を着実に継続させ、将来にわたる持続可能な安定した財政基盤の確立を目指すことが求められています。総額346億円は11・1%の増額で、積極的な予算となっております。さらに事務事業の見直し、市税、各種料金などの滞納の解消(コンビニ収納導入)へと事業推進を視野に編成されています。

歳出では市民の市政に対する参画と理解の輪を広げるとともに、東日本大震災のような災害・危機事象に対し、的確な防災整備を推進する要望がありました。重点施策の実現に向け、更なる検討を重ね実施する必要がある点も示されました。

反対討論では、予算規模の大きい情報化基盤整備事業について、説明が充分でないこと、認定こども園建設計画について地元市民の理解が得られていないとの意見がありました。

賛成討論では、情報基盤整備について情報の格差をなくすための積極的なまちづくり事業として捉え推進する必要がある。より慎重な協議対応が必要と考える。自治振興会の設立については、少子高齢化が進む中、地域で対応し発展していくために必要な施策と考えるとの意見等がありました。

以上のように情報基盤整備については、議会においてより慎重な審議・対応が必要ことから特別委員会の立ち上げの提案がありました。

# 新しい地域コミュニティはじまる!

### ゼロ予算事業

- ①甲賀の魅力発信  
“忍者”をコンセプトとしたご当地ナンバープレートの図案化
- ②安心・安全なまちづくり  
市道のパトロール(みなパト)  
高齢者安心見守りネットワーク事業
- ③市役所の技術・情報を届ける  
出前講座の充実  
防災スクール事業

### 現地視察

- 水口医療センター
- 貴生川認定こども園建設予定地
- 南仙地域市民センター
- 土山町山内地区・有害鳥獣防護柵



山内地区猪鼻地先

### 目標5 安全・安心で世代や地域を越えた活発な交流のあるまちづくり

地域情報化基盤整備事業(新)	2,207,000
ホームページの充実・強化	10,000
住民記録システム改修業務	107,378
都市計画道路見直し検討業務(新)	6,200
甲南消防署庁舎建設事業負担金(新)	244,939
事業執行安全管理アドバイザー設置事業(新)	780
災害発生時における業務継続計画(BCP)策定等事業(新)	10,000
洪水浸水ハザードマップ作成事業(新)	6,000
民間賃貸住宅家賃補助事業(新)	4,800
寺庄団地建替事業(新)	5,000

### 目標6 みんなで支えあう地域コミュニティづくり

新しい地域コミュニティ推進事業(新)	160,000
市民活動支援機能研究業務(新)	500
市民協働事業提案制度(新)	2,500
景観計画策定事業(新)	4,700



### 目標3 地域の資源を生かした元気な産業づくり

鳥獣侵入防護柵設置事業(新)	191,900
獣害に強い里づくり事業(新)	2,100
有害鳥獣捕獲推進事業	5,334
有害鳥獣捕獲事業(ニホンジカ対策)	14,800
都市農村交流事業(新)	33,581
甲賀の茶生産振興事業(新)	11,000
甲賀の野菜生産拡大推進事業(新)	3,700
米の消費拡大推進事業(新)	6,342



### 目標4 高速道路等を活かした賑わいづくり

新名神高速道路を活用した地域づくり事業(新)	14,000
甲南IC・PA有効利用検討業務(新)	4,500
観光客誘致推進事業(新)	2,000
商工業活性化支援事業(新)	3,000
紫香楽宮跡整備活用事業(新)	35,000

### 目標1 人のきずなと元気を育む

(仮)甲賀市社会福祉活動センター整備事業(新)	135,000
子宮頸がん等ワクチン接種事業(新)	94,320
就労サポーター設置事業	2,010
福祉と人権のまちづくり事業(新)	4,000

### 主な事業

### 目標2 子どもがいきいきと育つ環境づくり

小学校通院医療費助成事業(新)	12,000
保育園・幼稚園発達支援巡回訪問事業(新)	5,000
一時預かり保育事業	11,744
教育相談体制整備事業	9,018
保育園・教育施設空調設備整備事業(新)	116,500
貴生川認定こども園建設補助事業(新)	413,709
柏木・伴谷小学校・甲賀中学校耐震補強・大規模改造事業(新)	237,100

### 主な施策





### 民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。

**後期高齢者医療特別会計**  
**予算**  
 歳入歳出予算をそれぞれ、15億100万円とするもので、被保険者を1万1,784人と見込んでいます。

採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可



**介護老人保健施設事業特別会計**  
**予算**  
 歳入歳出をそれぞれ3億9,290万円とし、平成24年度の開設を目指



水口医療センター窓口

**平成23年度の放課後児童クラブの運営について**  
 「放課後児童クラブ」とは、仕事などで昼間、保護者が家庭にいない小学校や特別支援学校の小・学部に通う子どもたちに、遊びや集団生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業です。

女性の就労の一般化や少子化が進行する中「放課後児童クラブ」は、仕事と子育ての両立支援、

本来的な考えである。このことでした。採決を行い、賛成少数により、不採択とすべきものと決定いたしました。



**国民健康保険特別会計**  
**算**  
 国・県支出金、前期高齢者交付金、一般会計繰入金歳入とし、保険給付費、保険事業等を歳出として計上し、予算総額を歳入歳出それぞれ81億5,400万円とするものです。

**介護保険特別会計**  
**算**  
 歳入歳出をそれぞれ4億1,600万円とするもので、介護保険制度の定着による利用の増加および、高齢者自然増のため要介護者の増加による介護給付費を見込んで

**国民健康保険診療所特別会計**  
**算**  
 歳入歳出をそれぞれ4億8,430万円とするもので、水口医療センターの運営、機械器具整備および甲南診療所運営にかかる費用を計上している

**病院事業会計**  
**算**  
 収益的収入・支出予定額をそれぞれ8億4,700万円と定め、資本的収入予定額を4,248万8千円、資本的支出予定額を8,904万5千円と定めるものです。企業債償還分を含む見込んでいます。

**特別会計予算5件・事業会計予算1件**  
**付託議案**  
**特別会計予算などを慎重審議**  
 当常任委員会は3月17日に委員会を開催し、執行部に資料の提出と説明を求め、5特別会計予算、病院事業会計予算の計6議案について、慎重に審査を行いました。

採決の結果、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

### 所管事務調査

**「配偶者等からの暴力の防止および被害者の保護に関する基本計画」について**  
 市においてもドメスティック・バイオレンス(DV)が身近にある重大な人権侵害であることを認識し、暴力を許さない社会の実現を目指し、DV防止と被害者の保護のための施策の実施を積極的に推進する必要があります。

市においては、ることなくデートDV等、あらゆるDV被害者に配慮した相談、被害者の安心・安全の確保をはじめ、被害者の早期支援に向け、DVについての正しい理解の普及啓発を、関係機関と連携して進めるために策定されるものです。

### 総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です。

**地域市民センター設置条例など**  
**特別会計予算3件・条例の制定1件・請願1件**  
**付託議案**  
 当常任委員会は3月17日に委員会を開催し、執行部および請願者、紹介議員に資料の提出と説明を求め、慎重に審査を行いました。



**土地取得事業特別会計**  
**算**  
 この会計は土地の先行取得により、事業を円滑に推進するために設けられたものです。現在、土地の先行取得は考えていないが、今後の情勢によってはありえる。資産については的確に管理し、不要な土地は売却したい。組織として独立した専門的なセクションを設ける、とのことです。

**鉄道施設整備基金特別会計**  
**算**  
 この会計は、基金条例に基づき、基金運用益を基金からの繰り入れにより、鉄道の施設整備に充当するものです。鉄道事故の裁判が4月27日にあり、結果により将来的な具体的な数値を挙げ、十分な計画等に取り組みとのことです。

**請願審査**  
 「思いやり予算」の削減、廃止を求める意見書採択についての請願

**鉄道経営安定対策基金特別会計**  
**算**  
 この会計は、基金条例に基づき、信楽高原鐵道の経営の健全化を図るため設けられたものです。主に基金より2,000万円を取り崩し、鉄道経営の安定対策事業に繰り出す

**地域市民センター設置条例の制定について**  
 この条例は、市長の権限に属する事務を分掌させるため、自治振興会の組織化に合わせて、市内

23か所の施設を地域市民センターとして設置するものです。市民の身近なところで公平にサービスを行うという中で、誰を中心にするかは、一番弱い立場の方である。どういったサービスが弱者にとって必要かを見極めていくものです。自治振興会によるまちづくりは決して間違った施策では

なく、ぜひ推進しなければならぬ事業です。反対・賛成討論の後採択を行いました。

以上3件の特別会計は全員賛成、市民センター設置条例は賛成多数により可決すべきものと決定いたしました。

「思いやり予算」の削減、廃止を求める意見書採択についての請願

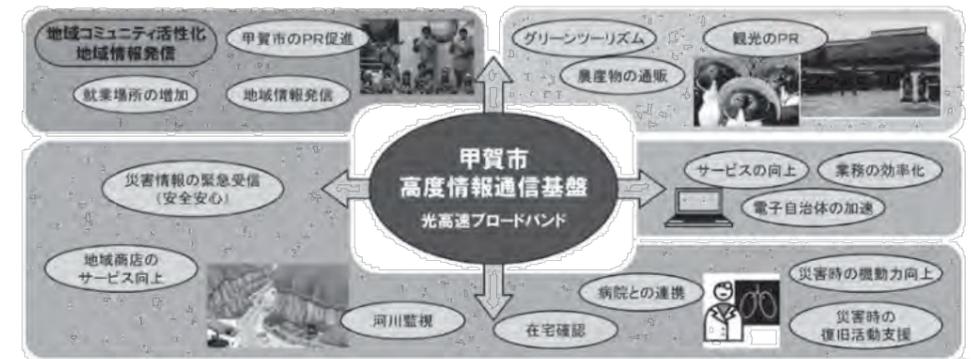
審査のなかでも主な意見は、日本を守るというニーズは高まっている。このことから考えるとアメリカの抑止力は否定できない。日本の立場を考えると、民主党が思いやり予算を延長したことはそれなりの意味がある。それに対し、戦後の日本の平和はアメリカに守ってもらったのか、それとも平和憲法を守ってきたのか分かれるところである。憲法9条をもって平和外交に当たることが基

### 所管事務調査

#### 地域情報化推進事業

1月21日、3月17日に委員会を開催し、執行部からの説明を求め調査しました。

お知らせや緊急情報などを、誰もが等しく知ることができ、安全安心のサービスの充実、発展のため、インターネットやテレビ放送、音声告知放送を市内全域で利用できる光網の整備を行います。



### 産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。

**野洲川基幹水利施設管理事業特別会計予算**  
野洲川ダムと水口頭首工に係る施設管理事業を

**公共下水道事業特別会計予算**  
快適な住環境の整備をするため下水道の、施設維持管理などの予算です。甲賀病院の開院に関連したポンプ場工事や下水道管の工事など、財政状況から整備計画に基づき、実施されます。

**浄化槽管理事業特別会計予算**  
希望ヶ丘地域の処理場の維持管理を実施するもので、不用となったポンプ場を解体撤去するものです。25年度末に公共下水道への接続完了を目指しています。

**水道事業会計予算**  
安全で安心な水道水を安定供給するため、必要な施策を実施するものです。水道の給水収益は、企業景気低迷の影響から、厳しい状況にあります。

**水道事業会計予算**  
安全で安心な水道水を安定供給するため、必要な施策を実施するものです。水道の給水収益は、企業景気低迷の影響から、厳しい状況にあります。



審査風景

審議の結果、賛成多数により、採択すべきものと決定いたしました。

**甲賀市住宅リフォーム工事に対する助成制度について「請願」**  
審議に先立ち、請願者紹介議員より、願意について資料により説明を受けた後、質疑・審査を行いました。その主なものは、この制度によって地域が活性化され、低迷した経済の起爆剤となり、市民への波及効果も大きいことや、関係業界だけが厳しいのではなく、甲賀市全体の状況が同様であり、東日本の大きな災害の配慮も、との質疑があった。反対、賛成の討論の後、採決の結果、賛成多数により、採択すべきものと決定いたしました。

#### 請願審査

#### 付託議案

**水道事業会計予算など慎重審議**  
当常任委員会は、3月17日に委員会を開催し、特別会計予算案4件、企業会計予算案1件と請願1件について、執行部に資料の提出と説明を求め、慎重に審査を行いました。



名阪国道付近

この関連が深いことから、伊賀市役所へ訪れ、情報の交換をしました。市内では、新名神高速道路建設と併せ、本連絡道路は、広域的な産業、経済、文化の交流と周辺地域の基盤強化、地域振興に大きく寄与することが期待されます。

委員会は、1月24日、名神名阪連絡道路の整備について、現地調査を行いました。



新名神高架下付近

#### 所管事務調査

**名神名阪連絡道路の整備について**

### 文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

#### 所管事務調査

**認定こども園建設計画について**  
貴生川地域で計画中の私立「認定こども園」開園に伴い、開園の方針を示している公立の幼稚園、保育園について存続を求める保護者からの嘆願書が去る2月16日、中嶋市長と伴議長に提出されたのを受け、本委員会としてもその重要性を鑑み、去る3月18日に委員会を開催して教育委員会当局に説明を求めました。

#### 認定こども園建設にかかわる今日までの経過

△平成19年3月、大規模園の民営化について方向を定める。  
△平成20年10月「幼稚園・保育園の適正規模と民営化について」幼保検討委員会に諮問、協議の後に平成22年2月答申あり。  
△平成22年4月、法人の開発事前協議により認定こども園建設の意向確認。  
△平成22年5月から市議会に状況報告。  
△平成22年6月、貴生川地域の総合的な教育環境創造のため、認定こども園開園する方針を決定。



認定こども園建設予定地

△平成22年7月、法人による発掘調査完了、開発許可される。  
△平成22年8月から保護者をはじめ地域区長、住民に説明会や懇談会を催し今日に至っている。  
△当委員会においても平成22年5月17日以降、毎回重要事項として取り上げ協議検討中。

#### 貴生川地域の教育現況

貴生川小学校の児童数は、現在の638人から平成27年度には812人となり市内最大規模の学校になる見込みです。今年度も2つの特別教室を普通教室に転用して運営しているが今後も教室不足が予測されます。このため貴生川地域の子どもたちの幼少期から学齢期までを見通し、総合的に教育保育環境を整備充実させることが求められております。

**◎将来を見すえた貴生川地域の教育環境づくりに向けた取り組みについて**  
△市内の待機児童の解消に向け、認定こども園を法人と共に整備することで、信頼される就

学前教育を実施して小学校へ円滑につないでいくことができる。

△貴生川小学校の教室不足や余裕のないグラウンド対応については、幼稚園跡地を利用して現小学校運動場の拡張とグラウンド内への不足教室の増設。

△保育園跡地を利用して児童クラブ施設として活用できるよう整備する。

以上、多様な方針が示され、委員より活発な議論が交わされました。

・公立保育園を廃園する権限は市にあるが、まだ一部の市民や区長等の理解が得られていないと思われる。

・規模については公立園を0人にせず、法人も適正規模にすれば並行開園は可能ではないか。

・市の施策なら最後まで反対はしないという区長も多くおられる。保

護者等のいさぐ不安払拭に最大限の努力が必要だ。

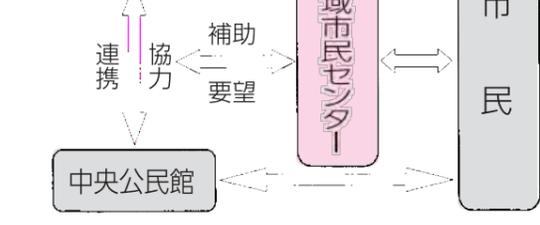
等々の意見がありましたが、今後は関係者の理解を得ることが重要である

#### 地域市民センター設置と公民館事業について

平成23年度よりスタートした自治振興会に位置づけられている地域市民センターと公民館および公民館事業とのかわりについて説明を求めました。

◎地域市民センター職員は公民館業務については、配置された2名の職員は地区公民館職員を併任し、講座の申し込みや生涯学習の情報提供を行ないます。

◎中央公民館職員と地域市民センターとの関係については、



▲地域市民センターと公民館事業のイメージ

ことから当委員会としては可能な限り少人数グループでの話し合いを重ねることを要請しました。

3名の中央公民館職員が定期的に市民センターを巡回し、学習情報の提供や学習要望を把握し事業を企画・運営します。



### 代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

#### 23年度予算編成の重点施策について

清風クラブ



村山 庄衛  
関連質問 拙 藤男

**問** 市長に二期目の折り返し点である今回の予算編成についての思いを伺う。

**市長** 危機的な財政状況であった一時の最悪期から脱した。これは歳入に見合った歳出の徹底化による財政健全化にむけた全庁一丸となって取り組んだ成果である。今年度も財政の黒字化を堅持し「市民と築く未来の創出予算」と位置づけ、6つの重点テーマを掲げ市発展の礎となる施策に重点的戦略に配分した。

**問** 重点施策について説明を求める。新しいコミュニティの推進について。  
**市長** 「自治振興会」組織の創設に当たり1億6,000万円の予算を計上し、人権尊重のまちづくりを基本としながら



獣害の現地調査

社会情勢や地域事情の変化に対応できる力強い活気あふれる地域づくりを目指す。

**問** 獣害対策に総額2億円の予算が計上されているが具体的な取り組みは。  
**市長** 「鳥獣害防止対策事業」を導入し、市が事業主体となり、イノシシ、シカを対象とし地元地域に資材を提供して恒久対策をする。「有害獣捕獲事業」では有害獣の個体調整を積極的に推進し、

捕獲報奨金などの助成拡充をする。  
**問** 新名神高速道路を活用した観光政策について。  
**市長** 高速道路により期待される効果を最大限に生かすための事業を全庁挙げての取り組みとする。甲南パーキングについては、相互に乗り入れできる新たな道路整備に向け、滋賀県とネクスコ西日本との協議を重ねている。甲賀土山インターにおいてもアクセス道路整備の調査を予定し、土山サービスエリアにおいてはスマートインターチェンジをネクスコ中日本に提案している。  
他に、拙 藤男議員が地域情報化基盤整備事業について公設の意義、サービス内容等関連質問をした。

#### 大きく舵を切る中嶋市政に問う

甲政クラブ



木村 泰男

**問** 平成22年度から3年間は、毎年10億円ずつ財源が不足すると言われてきたが、解消したのか。

**市長** 財政健全化への取り組みと行財政改革の成果により、危機的状況は脱した。  
**問** 34億円も増額された予算の意図は。  
**市長** 市民満足度を高め市発展の礎となる施策を編成した。  
**問** 厳しい財政状況が続くが、光ファイバーの敷設や甲賀病院の建設、庁舎改修など大型事業の財源はどうなる。  
**市長** 今までの取り組みで起債残高も減少。将来の財政状況を見越して、財源を配分する。

**問** 来年度22億円で全市民に敷設される光ファイバーの意義と総額は。  
**市長** 残された1,500世帯の格差解消と情報手段の一元化を図る。総事業費は2年間で30億円。  
**問** 国の光の道交付金7億円の見込みと、国の道の道構想と市の事業の狙いは一致するのか。  
**市長** 交付金は総務省と協議中。大手通信業者が市の95%に光ファイバーを敷設済みだが、独自のサービスや安価な料金、誰でも利用できることで利用者の確保を図る。  
**問** 支所廃止に伴う地域市民センターが、支所の機能を果たせるのか。  
**市長** 支所は中核的な地域市民センターとして次長級のセンター長を配置して同様の業務を行う。各小学校区のセンターはより身近な所で行政サービスを提供する。



どうなる再編計画

# 各会派による 代表質問



○より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会(議会中継)で本会議の様態をご覧ください。  
<http://www.city.koka.shiga.jp/>

○傍聴のご案内  
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。

## 平成23年 第1回甲賀市議会定例会代表質問

平成23年3月4日

順番	議席番号	氏名	会派名	質問事項
1	16番	村山 庄衛	清風クラブ	1 平成23年度予算編成について 2 組織の見直しについて 3 農業問題について 4 公共施設見直し実施計画について 5 高齢者施策について
		関連質問 拙 藤男		平成23年度予算・地域情報化基盤整備について
2	13番	木村 泰男	甲政クラブ	1 平成23年度予算編成について 2 地域情報通信基盤整備事業について 3 甲賀市の行政機構の再編について 4 幼保・小中の再編計画について 5 自治振興会と地域市民センターについて
3	11番	田中 新人	正政会	1 市政運営及び当初予算提案について 2 農業改革について 3 中心市街地活性化について
4	12番	小松 正人	日本共産党 甲賀市議員団	1 民主党政権のゆきづまりの中で市民の暮らしをどう守っていくのか 2 平成23年度甲賀市の予算について 3 高病原性鳥インフルエンザの侵入防止対策は万全か 4 貴生川地区区長会の総意と保護者の願いである公立貴生川幼稚園・保育園の存続を求める
5	10番	加藤 和孝	公明党 甲賀市議員団	1 平成23年度予算案に関連して 2 市長の施政方針に関連して 3 がん検診受診率50%達成に向けて 4 高齢者や障がい者が安心して住めるまちづくりについて 5 教育課題について

代表質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

市政運営および当初予算などについて

正政会
田中新人



問 財政健全化を判断する財政指標について伺う。

総務部長 平成22年度実績単年度収支は7,158万円の赤字見込であるが、今後決算に向けてさらに歳入歳出を精査する中で、最終的には黒字となる見込みである。財政力指数は平成22年度は0.793である。実質公債費比率は平成22年度決算では18%を下回る見込みで、起債許可団体から脱却できると考える。経常収支比率は22年度は90%を下回るよう予算執行に努めている。財政調整基金の年度末残高は17億6,612万9千円となる見込み。地方債残高は、平成22年度末には、374億1,906万5千円となる見込みである。

問 環境配慮枠の内容と削減目標について伺う。

総務部長 国の補正予算に伴うきめ細やかな交付金1億2,200万5千円で市道維持補修事業ほか11事業に活用する。

問 コンビニ収納について伺う。

総務部長 市税・料金のコンビニ収納は新年度4月からスタートする。利用率としては税のみで試算すると6%程度、口座振替を除く納付書送付者では15%程度と想定。

問 現在の財政事情と今後の財政運営について伺う。

市長 経費削減や普通建

設事業の優先度を考慮した計画的な実施、プライマリバランスの黒字化の堅持と繰上償還による市債残高の抑制、全職員の期末勤勉手当の独自カットなど、全庁挙げた取り組みで現在の財政状況は最悪期を脱した。今後は見通しは、自主財源率の高い強固な財政基盤を築き、取り組んでいく。

問 子どもがいきいきと育つ環境づくりとは。

市長 低所得者層における子育て支援体制を充実する。

他に農業改革および中心市街地活性化について質問

市長 耐震補強工事に取りかかる柏木小学校



耐震補強工事に取りかかる柏木小学校

貴生川の公立幼稚園・保育園を存続せよ

日本共産党
小松正人



問 民主党普政権の行き詰まりの中で、市民の暮らしをどう守るか。とくに民主党の社会保障制度改革について、どう認識しているか。

市長 今後行われる社会保障制度改革が安心・公平の得られる制度になるよう財源の安定的確保を願うものである。

問 県と共同する事業との関わりで、老朽化した農業水利施設の更新はどうか。

産業経済部長 県の予算枠は前年比23%減の予算配分とされたが、老朽化のランク付けにより改修を進め、国庫事業費で排水路の整備や、市単独での小修繕的な整備も要望に添えていく。

問 コミュニティバス事業は県の補助率が2分の1から3分の1になったが、市の一般財源で補い、現行路線を確保する。移転後の公立甲賀病院へのアクセスは1ヶ月の便数維持を前提に進める。

市長 鳥インフルエンザの感染防止対策では、所謂「城山カラス」の感染危険の分散と減数対策を講ずるべきだ。

問 古城山の環境を変えたいことが抜本的対策と考えている。ネグラーとなつて木伐採や散策道の整備に取り組む。

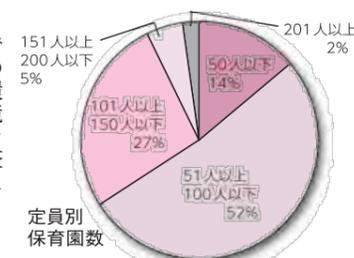
市長 貴生川全区長が署名・捺印の要望書を、また両園保護者の嘆願書が市長に提出された。いずれも強い「存続」を求められている。どう対応するのか。幼少期から学齢期

1から3分の1になったが、市の一般財源で補い、現行路線を確保する。移転後の公立甲賀病院へのアクセスは1ヶ月の便数維持を前提に進める。

問 鳥インフルエンザの感染防止対策では、所謂「城山カラス」の感染危険の分散と減数対策を講ずるべきだ。

産業経済部長 古城山の環境を変えたいことが抜本的対策と考えている。ネグラーとなつて木伐採や散策道の整備に取り組む。

市長 貴生川全区長が署名・捺印の要望書を、また両園保護者の嘆願書が市長に提出された。いずれも強い「存続」を求められている。どう対応するのか。幼少期から学齢期



定員別保育園数

また、説明会を開き意見を頂く場を設ける約束をした。

代表質問

平成23年度予算編成と諸課題について伺う

公明党
加藤和孝



問 平成23年度予算は実質公債費比率などがどの程度になると想定して編成されたか。

市長 これまでの財政健全化の取り組みにより実質公債費比率は平成22年度決算では18%を下回る見込みであり、平成23年度決算ではさらに改善される見込みである。将来負担比率においても同様に改善される見込みである。

問 平成23年度に実施予定の介護予防ボランティア活動事業の具体的な内容について伺う。

市長 ボランティア活動に参加する対象者は要介護認定などを受けておられない市内在住の65歳以上の方で、施設内での散歩や外出の補助、配膳、話し相手、傾聴などを想



定している。活動参加に對し1年間で50時間50ポイントを上限として市内の特産品や商品券などをお渡しする予定である。

問 がん検診受診率50%達成に向けての受診体制について伺う。

市長 受診率を上げるため、様々な取り組みを行ってきたが顕著にその効果がでていない。今後は、集団検診とあわせ総合病院など医療機関の協力を

お願いし、検診実施の調整を図る。子宮がん検診については県内の医療機関で相互利用が可能になる。また、特定健診通知に合わせ、がん検診の日程表などを同封する方法を検討する。

問 障がい者を地域で支えるシステムが必要と考えるが本市の対応は。

市長 現在、市と福祉協議会では、国が提唱する安心生活創造事業を推進している。この事業は、見守りや買い物支援など地域において支援を必要としている方々を、もれなくカバーできる支援体制をつくることを目的としており、社会福祉協議会が進めているご近所福祉も含めて体制を検討中である。

議会活動報告 (1月~3月)

Table with columns for date, committee name, and meeting details. Includes sessions from January 7th to March 28th.

東日本大震災被災者の方々に心からお見舞い申し上げます。

甲賀市議会議員一同より30万円の義援金を日本赤十字社等を通じて被災地へお送りしました。



### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**問** 本会議において、今回三度目の質問となる貴生川駅南口の整備計画について、将来の甲賀市全域の発展を見据えた時、必要不可欠の政策課題であると議員就任時からの私の信念である。今後の具体的な整備計画は、**市長** 交通拠点を有効活用したまちづくりを進めるために、当市の玄関として、相応しい地域の顔となる魅力ある景観づくりや、にぎわいのあるまちを創出するため整備を実施する。具体的には、JAこうか貴生川支所と駅南口区域の駐車場を合わせた約0.6ヘクタールのエリアに、現在、整備を進めている水口医療センターの診療所や老人保健施設のエリアを含めた約1.3ヘクタールを整備計画対象区域と考えている。

鵜飼 勲 議員

**A**

都市拠点と位置付け整備する

**Q**

貴生川駅南口の開発計画は



整備計画の概要が明らかにされた貴生川駅南口

他に、「水口医療センターの今後の運営方針について」「甲賀市税・料金等滞納対策3カ年計画について」「甲賀斎苑の運営管理について」を質問しました。

### 取水口の水質に異常はないか

土山定信 議員

**A**

水質に異常はなかった

**問** 平成22年10月に起きた廃棄物保管のシートに穴が開いたとされる事故について、市はどの程度の内容把握しているのか。**市民環境部長** 現在調査しているとの報告を受けている。**問** 市に対して、事故の原因もすっかり報告を受けていないのであり、協定書に基づき、なぜ原因が明らかになるまで「営業を止めなさい」との権利を主張しなかったのか。**市長** すぐに補修されており、水質の汚染にはつながらないと判断した。**問** クリーンセンター下流に水道取水口が二箇所

あるが、水質検査に異常は無かったのか。**上下水道部長** 異常は無かった。**問** 以前の私の質問に対して、放射能の測定器を市から要望するとの回答であったが。**市長** 市から要望を行なった。廃棄物保管場の放射能測定を行なって異常は無かったとの報告を受けている。測定器の常設については引き続き強く要望をする。



グリーンセンター滋賀

山岡光広 議員

**A**

難視地域は36ヶ所 2、3、5世帯

**Q**

地デジ移行新たな難視対策は万全か

**問** 今年7月24日、地上アナログ波全面停止・地デジ移行を目前にして、難視対策は万全か。一人暮らし高齢世帯への対応。**総合政策部長** 市内の難視地域は36ヶ所、2、3、5世帯。共聴施設、高性能アンテナ、ケーブルテレビの対策を講じており、受信不可能の場合は、衛星放送による暫定対策を。移行までに解決をめざしている。**問** アナログ波停止延期を国に働きかけるべきではないか。**総合政策部長** 市民に混乱を招かないよう努めていく。**問** すべての小学校区に学童保育所を。**健康福祉部長** 利用者の少ない学校でも、近くの児童クラブを利用できる



冠水で稲が育たない箇所も（甲賀町高野）

**問** 甲賀町高野地先の公道の雨水対策不備で水田が冠水。緊急に対策を。**建設部長** できる限り早く対応していきたい。

## 15人の議員が 市の考えを問う 一般質問

### 平成23年 第1回甲賀市議会定例会一般質問

平成23年3月7日・8日・9日

順番	議席番号	質問方法	氏名	質問事項
1	9番	分割	鵜飼 勲	1 貴生川駅南口の整備計画(土地利用)について
				2 水口医療センターの今後の運営方針について
				3 甲賀市税・料金等滞納対策強化3カ年計画(チャレンジ25プラン)について
				4 甲賀斎苑の運営管理について
2	4番	一問一答	土山 定信	1 クリーンセンター滋賀でのシート破損、漏水事故後の安全再確認について
3	3番	分割	山岡 光広	1 公の施設に係る指定管理者制度について
				2 地デジ全面移行を前に「新たな難視」対策と地域情報基盤整備について
				3 すべての小学校区に学童保育所を
				4 保育園の待機児童解消について
				5 甲賀町高野地先の県道・市道の雨水が近隣の農業用排水路に流れ、農業に影響が出ている問題について
4	22番	一問一答	葛原 章年	1 地域(旧町域)振興について 2 定例会終了後の代表質問、一般質問への対応について
5	14番	分割	辻 重治	1 防災体制の整備について 2 獣害対策について
6	24番	分割	中島 茂	1 甲賀市の教育について 2 甲賀市の農業問題について
7	23番	一問一答	今村 和夫	1 貴生川幼稚園・保育園について 2 自治振興会における、区・自治会組織のない世帯への対応について
8	7番	分割	的場 計利	1 甲南駅周辺整備構想および進捗状況について
				2 重要な市の基本指針などを審議答申される委員の就任にあたっては小論文(理念)の開示を
				3 成人式のあり方について
9	6番	一問一答	谷永 兼二	1 健康遊具・防災ベンチの公園等への設置推進について
				2 であいこうか八景の利活用について
				3 信楽中学校室内温水プールとトレーニングルームについて
10	21番	分割	安井 直明	1 市職員の定員適正化計画について
				2 市営住宅の現状と安心して暮らせる実行力のある計画にするために
				3 経済効果の大きい住宅リフォーム制度を実施せよ
				4 主要地方道土山蒲生近江八幡線の今後の改良を問う
11	2番	分割	小西喜代次	1 誰もが安心して利用できる国保へ改善を
				2 国民健康保険広域化の問題点と市の姿勢を問う
				3 介護保険制度の充実のために
				4 生活実態に見合った生活保護行政を
				5 より便利で利用しやすい公共交通に
12	17番	分割	中西弥兵衛	1 信楽における公共下水道整備事業の今後の方針と財源見通しを問う
				2 知的障害者による芸術作品の啓発と収蔵施設の建設誘致について
13	25番	分割	橋本 律子	1 若者への支援対策について 2 国際化推進計画について
14	5番	分割	橋本 恒典	1 水口スポーツの森陸上競技場の整備と管理運営について
				2 子どもの社会参画と子ども議会について
15	18番	一問一答	岩田 孝之	1 公共施設における自販機設置問題について

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会(議会議中継)で本会議の様態をご覧いただけます。  
http://www.city.koka.shiga.jp/

◎傍聴のご案内  
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。



### 一般質問

**問** 保護者、地域からの問題点は。

**教育長** 新設園の規模から園児の安全確保に対する不安、特別支援の必要なお子さんへの対応、加えて認定こども園の制度上の運用における問題点などが指摘さ



貴生川保育園

**問** 保護者、地域の説明会の現状は。

**教育長** 平成22年8月5日より平成23年2月まで8回の説明会を開催した。説明会や区長三役様、保護者代表の方々と面談を重ねていく中で、いくつかの疑問点やご心配な点の払拭は少しずつ出来つつあるが、保護者や地域の皆様は、公立園の存続、いわゆる公立、私立の並行開園を求められている。

今村和夫 議員

**Q** 保護者・地域の説明会の現状は

**A** 公立園の存続、並行開園を求められている

**問** 現在の状況を市長はどのように認識しているか。

**市長** 今日に至る経過は教育長や教育委員会から逐次報告を受けており現状は把握している。そうした中、1月に貴生川地区区長会、2月に保護者より署名を添えた嘆願書を提出された。皆様の公立園存続の思いについては認識している。

**問** 防炎体制の整備のなかでは、広域行政組合、消防団の担う役割についてどうか。また、甲南消防署の移転と概要はどうか。

**政策監** 災害発生時には連携した対応が重要であり、公助として最前線で消防救助活動を担っており、連携を図っている。甲南消防署は30数年が経過し老朽化している。迅速な出動などから、甲南町池田地先において、鉄骨平屋建、約8000平方メートルの消防庁舎の年度内移転新築を行う。

**問** 現在の難しい教育環境にあるなか、再び来ることのない「今」を学ぶ子ども達に、将来に向かって間違いのない「学びの機会」を逸することのないよう教育委員の皆様

**教育長** 輝きつつける



教育理念の開示を

**Q** 統一した教育理念を示すことは大切

**A** 統一した教育理念を示すことは大切

的場計利 議員

**問** 現在の難しい教育環境にあるなか、再び来ることのない「今」を学ぶ子ども達に、将来に向かって間違いのない「学びの機会」を逸することのないよう教育委員の皆様

**教育委員会**として統一した教育理念を市民に示すことは大切なことであり、一層の教育行政推進のため議論を深めている。

谷永兼二 議員

**Q** 健康遊具防災ベンチを公園へ

**A** 検証を進め設置推進を検討する

**問** 市や区・自治会で管理される公園や広場に遊び感覚で体力維持、健康増進が図れる中高年向けの健康遊具を設置推進してはどうか。

**建設部長** 水口スポーツの森ふれあい広場では三世代で憩える公園として設置をした。他の公園についても安全面や管理方法等も含め検討している。



災害時に役立つ防災かまどベンチ

**問** 公園や広場には遊ぶ、集うという役割がある。もう一つには防災公園として位置づけられ、避難場所指定されている場所もある。災害発生時に活用でき、地域の防災、減

**健康福祉部長** 今後、増加する高齢者の介護予防、健康づくりの観点で、健康遊具の効果、安全面や管理方法などを研究していく。

**問** 公園や広場には遊ぶ、集うという役割がある。もう一つには防災公園として位置づけられ、避難場所指定されている場所もある。災害発生時に活用でき、地域の防災、減

**教育長** 学習指導要領では「わが国の国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てる。諸外国の国旗と国歌も尊重する態度を育てる」と明記。各学校においても国旗を掲揚し、児童生徒には入学式や卒業式において国歌を斉唱するものであり周知する。

卒業式の風景

### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**Q** 総合計画にある「地域」とは

**A** 旧5町の範囲と認識している

葛原章年 議員

**問** 甲賀市総合計画には「地域のバランスある発展」に留意した計画とあるが、地域とはどの範囲と認識しているのか。

**市長** 総合計画で示す地域とは、これまでの歩みにより育んできた風土、歴史、地域特性を有している旧5町を基本とした範囲であると考えている。

**問** 合併して7年になるがこれまでの旧5町の地域振興はどうであったか。

**市長** 各支所を通じて、日ごろの住民サービスはもとより、緊急時の対応や選挙などに地域の均衡



地域振興の拠点としての支所

**問** 「大きな支所・小さな本庁」は今日までに実現されてきたのか。

**市長** 単に支所における職員数の大小だけではなく、市民生活に密着した行政サービスを効果的に提供できるように徐々に改善をしてきた。

辻重治 議員

**Q** 甲南消防署の移転は

**A** 今年度中に新築移転を計画



老朽著しい甲南消防署

**問** 防炎体制の整備のなかでは、広域行政組合、消防団の担う役割についてどうか。また、甲南消防署の移転と概要はどうか。

**政策監** 災害発生時には連携した対応が重要であり、公助として最前線で消防救助活動を担っており、連携を図っている。甲南消防署は30数年が経過し老朽化している。迅速な出動などから、甲南町池田地先において、鉄骨平屋建、約8000平方メートルの消防庁舎の年度内移転新築を行う。

**問** 地域ぐるみの獣害対策について、その取り組みは。

**産業経済部長** 人里に現れる要因を明らかにし、集落環境の点検を基本として、防護柵設置の経済的支援や助言をする。

**Q** 日本国の歴史、家族の絆、民族の歴史の教育は

**A** 国際化に伴い、日本と郷土を愛する教育を目指す

中島茂 議員

**問** 日本国の歴史、家族の絆、民族の歴史の教育についてどのような取り組みがなされているのか。

**教育長** 学校が行う教育活動は学校で編成する教育課程に則り実施している。

**問** 健康遊具防災ベンチを公園へ

**A** 検証を進め設置推進を検討する



卒業式の風景

**問** 国歌、国旗の指導について。

**教育長** 学習指導要領には「わが国の国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てる。諸外国の国旗と国歌も尊重する態度を育てる」と明記。各学校においても国旗を掲揚し、児童生徒には入学式や卒業式において国歌を斉唱するものであり周知する。

**問** 学習指導要領でも「わが国と郷土を愛する日本人の育成」が明記されている。甲賀市の教育は、総合計画に掲げる「人・自然・輝き続ける・あい甲賀」を担う人材育成を目指し、学力、人間性、健やかな体の育てにに取り組んでいる。

**問** 国歌、国旗の指導について。

**教育長** 学習指導要領には「わが国の国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てる。諸外国の国旗と国歌も尊重する態度を育てる」と明記。各学校においても国旗を掲揚し、児童生徒には入学式や卒業式において国歌を斉唱するものであり周知する。



### 一般質問

**問** 不登校の実際と学校の現場の支援体制の現状は。

**教育長** 昨年度、小学校27人、中学校84人。過去3年間連続で減少をみているが全国の不登校率に對しやや高い傾向。学校では本人はもとより家庭との信頼関係の構築を目指し個別指導に取り組んでいるが、すぐに成果が現れない課題がある。適応指導教室・スクールカウンセラー派遣・ケース会議や教育委員会から指導主事派遣等個別相談に依っている。

**問** 不登校生への一貫した支援体制として追跡調査はどう取り組んでいるか。

**教育長** 保健センター、家庭児童相談室等と情報を共有し支援継続に努めているが、義務教育後のひきこもりやニート・非

**問** 魅力ある学校づくりに向け相談体制を

**教育長** 支援を求めるサインにしっかりと応じ、早期発見・早期対応が重要。初期シートを作成しケース会議で評価・支援計画立案・継続支援。さらに不登校「ゼロ」を目指し魅力ある楽しい学校づくりのための体制づくりが大切と考える。

**問** 就労を見据えた対策を。

**教育長** 保護者と連携した取り組みが必要となる。

**問** 他に「国際化推進計画」の現状と今後について質問した。



**問** 不登校生への支援継続と予防は

**教育長** 支援を求めるサインにしっかりと応じ、早期発見・早期対応が重要。初期シートを作成しケース会議で評価・支援計画立案・継続支援。さらに不登校「ゼロ」を目指し魅力ある楽しい学校づくりのための体制づくりが大切と考える。

**問** 就労を見据えた対策を。

**教育長** 保護者と連携した取り組みが必要となる。

**問** 不登校の実際と学校の現場の支援体制の現状は。

**教育長** 昨年度、小学校27人、中学校84人。過去3年間連続で減少をみているが全国の不登校率に對しやや高い傾向。学校では本人はもとより家庭との信頼関係の構築を目指し個別指導に取り組んでいるが、すぐに成果が現れない課題がある。適応指導教室・スクールカウンセラー派遣・ケース会議や教育委員会から指導主事派遣等個別相談に依っている。

**問** 不登校生への一貫した支援体制として追跡調査はどう取り組んでいるか。

**教育長** 保健センター、家庭児童相談室等と情報を共有し支援継続に努めているが、義務教育後のひきこもりやニート・非

**問** 不登校生への支援継続と予防は

**教育長** 支援を求めるサインにしっかりと応じ、早期発見・早期対応が重要。初期シートを作成しケース会議で評価・支援計画立案・継続支援。さらに不登校「ゼロ」を目指し魅力ある楽しい学校づくりのための体制づくりが大切と考える。

**問** 就労を見据えた対策を。

**教育長** 保護者と連携した取り組みが必要となる。

**問** 水口スポーツの森陸上競技場の整備状況は

**橋本恒典 議員**

**問** 今秋に陸上競技場オープン

**橋本恒典 議員**



水口スポーツの森陸上競技場

**問** 信楽ニュータウンの上水道施設移管は

**中西弥兵衛 議員**

**問** 施設移管に向け協議を進める

**中西弥兵衛 議員**

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて



公共施設に設置されている自動販売機

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて

**問** 公共施設における自販機設置に関して、入札制度が検討されていると聞くがその考えを問う。

**総務部理事** 厳しい経済状況にあり、市税の大幅な改善は見込めないことから、引き続き財政健全化に向けた着実な取り組みを進める中で、歳入の確保を図っている。

**問** この中で多くの市で導入されている自販機の設定について、他市の入札制度の事例を基に検討を行っているか。

**問** 入札に移した場合のメリットはどうか。

**総務部理事** 入札制度を導入した多くの自治体では一定の収入が確保されている。しかし福祉団体の支援を目的で設置を認めてきたものもあり慎重に検討を進める。

**問** 愛ある行政を進めて

### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**問** 市職員の定員適正化計画について。

**総務部長** 特例制度による退職者の増加等で平成17年度1,048人に対し、平成22年度は925人で123人の減。専門職は保育士、幼稚園教諭、保健師、臨床心理士、一級建築士、社会福祉士等を配置。用務員は21人、調理師が14人の減となり、臨時的任用職員で対応する。

**問** 市営住宅の現状と安心して暮らせる実行力のある計画にするためには。

**市長** 平成17年度に市営住宅の計画を策定したが、財政が厳しく十分な施策が出来ていない。寺庄地



延長が望まれる土山蒲生近江八幡線

**問** 土山蒲生近江八幡線の今後の改良を問う。

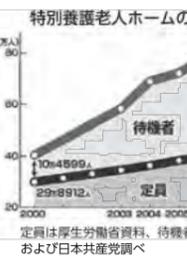
**建設部長** 土山町頓宮から日野町鎌掛までの未整備区間は、頓宮鎌掛道路ルート検討会から答申され、国道1号前野交差点から頓宮新池東側を通過する町道日野南部線までとなっている。地元改良期成同盟会から滋賀県土木交通部に要望活動を実施する。

**問** 国保税の引き下げを

**小西喜代次 議員**

**問** 歳入確保が重要で引き下げられない

**小西喜代次 議員**



特別養護老人ホームの待機者と定員

**問** 信楽ニュータウンの上水道施設移管は

**中西弥兵衛 議員**

**問** 施設移管に向け協議を進める

**中西弥兵衛 議員**



信楽ニュータウン給配水施設



### 組合議会の動き

#### 甲賀市 公病院組合 議会

### 23年度病院事業予算など可決

収益的収入／98億6,107万円  
資本的収入／71億9,099万9千円

3月29日、定例の組合議会が開かれ、23年度事業会計予算など6議案と医療事故和解に関する議案が追加提出され、質疑のあと慎重審議の上全議案が可決されました。

議会前に全員協議会があり、病院事業で多額の過年度損益修正が発覚し外部監査人を入れて検証を受けた報告と移転新築工事に関わり、木の切り株など地下障害物が発見され、新たに調査、撤去

経費の追加を要するなどの報告がされました。議案では職員の子供休業に関する条例の改正、



基礎造成が進行中

は地元の業者の関心が高く、37%以上を目標として着実な達成を図り、逐次検証して報告するとの答弁があり、閉会しました。  
(文責 小松正人)

### 特別委員会の動き

#### 議会改革 特別委員会

### 「議会基本条例の策定に向けて」継続中

当特別委員会では、議会基本条例の策定に向けて引き続き協議検討を重ねています。すでに12回の委員会を開催しました。委員会では中身の濃い白熱した議論が展開されています。

正に議会の憲法であり、議会および議員の活動の活性化と充実のために、議会運営の基本事項を定めるものです。市政の情報公開と市民との協働のまち、住みよさと活気あふれるまち、すなわち「人 自然 輝き」をつづける「あい甲賀」づくりの実現に寄与するための条例です。この条例制定に際して、市民の皆さまの意見を聞く機会・会議や資料の公開・議会報告会等の個別課題についても実現を目指して検討を重ねています。



まだまだ目途のつくところに至っておりませんが、鋭意議論を重ねていきます。市民に開かれたわかりやすい議会運営、市政の監視・評価等地方議会本来の二元代表制の機能がより一層高められるように、執行部と緊張感を持つた議会運営となることを目指して活動しています。

#### 交通対策 特別委員会

### 市民により便利で喜ばれる公共交通を先例地から学ぶ

「便利で効率的な公共交通体系を先例地から学ぶ」ことを目的として、1月27日・28日に岐阜県飛騨市・長野県伊那市に行政視察を行いました。

①飛騨市巡回バス「ふれあい号」は、合併した2町2村の住民交流の一体化とそれぞれの施設の有効利用を目的として、毎日6便が巡回運行されています。中学生以下の運賃無料化や乗車料金100円、フリー乗車区間の設定等の努力により利用者が増加傾向にあるとのことでした。



岐阜県飛騨市研修

②ボランテア有償運送「ポニーカーシステム」では、国の「構造改革特別区域」の認定を受けて、満65歳以上の方を対象に地域内での移動に限り事前予約(デマンド方式)で、民間ボランテア運

転手により運行されています。今後の課題として、夜間までの時間延長・サービス内容の周知などがあげられていました。

③伊那市コミュニティバスでは、合併後の旧市町村ごとの公共交通網の再編を進められてきた結果、路線の再編や運賃値上げについても市民の理解が得られたとのことでした。

#### 環境対策 特別委員会

### クリーンセンター滋賀の遮水シート破損事故について

当特別委員会ではクリーンセンター滋賀遮水シート破損事故検証委員会の結果について公社より報告を受けました。漏水検知箇所の破損原因については、専門家の見解では施工や廃棄物埋立のプロセスならびに損傷部の形状から遮水シートに何らかの力が加かることにより破損したと思われる、重機による破損が可能性の一つと考えられます。議題としては他に掘削工事に伴う破損原因、シートの補修効果、破損に伴う環境への影響、事故情報の通報・連絡体制、公社の危機管理体制等について、検証委員会の概要説明を受けました。その後、

水口町水口地先  
廃プラ350t  
埋立て積置き



甲賀町毛枚地先  
コンクリート敷



水口町高山地先  
ビニール等  
不法投棄



破損箇所の遮水シートの掘削作業 損傷箇所  
甲賀市内の不法投棄の現状について市民環境部より説明を受けました。信楽町黄瀬地先および多羅尾地先の不法投棄は解決しました。

#### 甲賀広域 行政組合 議会

### 23年度一般会計予算可決 し尿処理施設建設

第1回定例議会が開催され、22年度一般会計補正予算並びに23年度一般会計予算など6議案が提出され質疑の後、全議案が可決されました。

活躍いただきました。3月29日に起工式が挙行されました。本事業は昨年度末に発生した「第1次循環処理水」の流出による緊急事態に鑑み、早期に改築が待たれるものです。



◆衛生費  
(し尿処理施設建設費)  
6億1,992万円

◆消防費  
(消防庁舎建設費)  
甲南消防署庁舎  
2億2,960万円

平成22年度補正予算  
総額31億105万円  
(507万円減額)

◆東日本大震災による緊急消防援助隊出動派遣  
(642万円増額)

大地震・大津波発生直後より3月末まで、第7次隊(計83名)が福島地区において救済活動にご

参加された。平成24年6月25日

甲賀広域行政組合事務局移転

甲賀広域行政組合消防本部庁舎内へ(4月1日より)

(文責 橋本律子)

### 人権学習会開催

3月28日(月)午後3時より、甲賀市人権尊重推進委員会主催で、こども未来課スクールカウンセラーの岡田真子先生を講師に迎え「発達障害を理解しよう」とのテーマのもと広汎性発達障害「自閉症」について、甲賀市の実態を含めて学習しました。

議員から相談体制の現状と発達障害への公的支援の今後のあり方などの質問が出され、講師より健診の重要性や正しい理解・継続したサポートの推進が必要との話を伺いました。

今後も議会としてより広い研修を続けていきます。



有意義だった人権学習

# であいこうか 八景

## Vol.6

こじょうざん  
 古城山は、東西南北どの方向から見ても山容を同じくせず、古来より交通の要衝にあって、街道を行き交う旅人の目印となり、また東海道の土山・水口では宿場町として栄えた往時の息づかいに出逢えます。



水口宿東見附跡

水口宿の東端で、中畑集落の入口に当たるところに設けられたもので、木戸や番所を置き宿場町を守る東の見張所でした。後方は古城山のふもとになります。(水口町秋葉)



横田渡常夜燈

東海道十三渡しの一つで野洲川の両岸が水口町泉・湖南市三雲の地先となる辺りを横田川といい、江戸時代の参勤交代などで渡し舟や渡し賃の制度が整えられました。(水口町泉)

- ① びわ湖の源流
- ② 陶都の山容
- ③ 豊かな田園
- ④ お茶のふるさと
- ⑤ 甲賀の里を望む
- ⑥ 東海道の道しるべ
- ⑦ 甲賀の車窓から
- ⑧ 甲賀のにぎわい

# 東海道の道しるべ



こじょうざん  
 古城山の山容(東からの眺望)  
 野洲川から見た古城山は旅人の唯一の雄大な目印でした。



旧東海道松並木  
 旅人たちに木陰を提供した旧東海道の松並木を歩むと、近江茶の香りも漂ってくるようです。(土山町市場)

## 編集後記

◆東北関東大震災による未曾有の被害は、死者行方不明者が2万数千におよぶとのこと。亡くなられた方や被災された皆様に衷心よりご冥福とお見舞いを申し上げます。甲賀市議会としても1日も早く復興されますよう念願し、議員一同が義援金をお送りしました。

◆平成23年度甲賀市一般会計予算及び特別会計予算をより判りやすくするため、市民一人あたりに換算した表も記載致しました。皆様の感想やご意見をお待ちしています。

(広報特別委員 森嶋克巳)

## 6月議会の予定

- 7日 本会議 議案上程・説明
- 14日 本会議 議案審議・採決
- 17日 本会議 一般質問
- 20日 本会議 一般質問
- 21日 本会議 一般質問 (予備日)
- 22日 委員会
- 23日 委員会 (予備日)
- 27日 本会議 議案審議・採決

## カメラの



市民の皆様から寄せいただいた救済物資は、それぞれの品目ごとに分類・梱包され、土山地域市民センター内で出発を待っています。自衛隊より指示された物資を大津駐屯地へ配送します。表紙の日は、ペットボトルのお茶と、タオルなどの物資が送られました。

一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

写真撮影： 舩 藤男